

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 放射線治療における呼吸性移動対策に関する研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 中央放射線部（研究責任者）比内聖紀
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 9（西暦 2027）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間に放射線治療科で胸部の放射線治療計画 四次元 CT を受けられた方
＜研究の目的＞ 呼吸性移動を伴う肺腫瘍の放射線治療において、腫瘍の移動範囲の決定は、治療効果に影響を与える重要な要素です。放射線治療計画において、肺腫瘍の呼吸性移動を把握する際に 四次元 CT が用いられています。しかし、呼吸管理が困難で呼吸波形が不規則な場合、呼吸波形と同期させて 四次元 CT を撮影することは難しく、呼吸性移動を反映した CT 画像を取得することが困難です。患者さんの呼吸波形を利用した 模型を用いた実験 により、人体を模擬した動きを評価することが可能となります。本研究では、より正確に呼吸移動の範囲を反映することが可能な撮影法を考案することを目的として、精度の高い放射線治療の実施を目指して研究を進めます。
＜研究の方法＞ 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に、当院において胸部治療計画 四次元 CT を施行した患者さんの呼吸波形を解析し、患者さんの呼吸波形を利用した 模型を用いた実験 により撮影方法の検討を行います。解析方法は、 模型を用いた実験 で取得した画像より模擬腫瘍を手動にて輪郭抽出し、抽出した体積を従来の撮影方法と比較を行います。 同意撤回後のデータの取り扱いについて、論文公表後は修正できません。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 呼吸同期システムによる呼吸波形
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 中央放射線部 氏名：比内聖紀 電話：03-3972-8111 内線：4110 (PHS) 8837

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方